



日本家族看護学会 第27回学術集会のご案内

「未来をひらく」

WEB開催期間 2020年9月1日(火)~22日(火)

メイン開催日程
(一部プログラム同期型)

9月12日(土)~13日(日)



会長 浅野 みどり (名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

会長挨拶

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、第27回学術集会はWEB開催に変更させていただくこととなりました。COVID-19関連で亡くなられた方・ご遺族に謹んで哀悼の意を捧げますとともに、日々緊迫した現場において、それぞれご対応いただいている会員のみなさまに、深く敬意を表します。

日本はすでに人口減少の時代に入り、2018年の出生数は91万8397人で過去最低を更新しました。一方、2019年度版の高齢社会白書では、総人口に占める65歳以上人口の割合(高齢化率)は28.0%、75歳以上人口は65歳~74歳人口を上回る1,798万人、総人口に占める割合は14.2%となりました。しかし、今回のCOVID-19による死者の9割は60代以上(70歳以上が6割余り)で、超過死亡が気になるところです。

さて、8050問題など引きこもりの問題は、今や思春期・青年期の若者だけの問題ではなくなっています。一方で、在留外国人数は過去最高となり、社会の文化的多様性も増しています。Stay Homeによる新たな影響も気になるところです。経済発展を背景とした過去のやり方、これまでのやり方では解決できない問題も多い時代になっています。看護のニーズや活動の場もどんどん地域へと広がっています。経済的にもマンパワー的にも限られた資源の中、やはり問題が生じ解決困難になってからではなく、予防的な支援や取り組みが求められていると痛感します。今回のテーマは「未来をひらく」としました。視点を変えれば、悲観的なことばかりではなく、グローバル化、あるいはIT化やSNSの時代だからこそ(?)の新たなつながり方、コミュニティのあり方、取り組み、アイデアも若い世代を中心に発信されつつあります。これまでに培われた家族看護の知を集積・可視化し、会員のみなさまと共に「家族全体のウェルビーイング」を目指し、よりフレキシブルにポジティブに家族看護の力を発揮し、未来をひらくことを考える機会となるよう願っております。特別講演には、ひきこもり脱出に向けた家族支援や家族の力での問題解決に取り組まれていらっしゃる精神科医の田村毅先生をお迎えします。また、シンポジウム「家族をひらく、家族がひらく」では、多様なシンポジストと共に家族の多様性について考えてみたいと思います。26th-27th-28th学術集会リレーシンポジウムでは、COVID-19から見てきた家族看護の課題を取り上げます。

プログラム

【会長講演】 『未来をひらく』

浅野 みどり (名古屋大学大学院医学系研究科 教授)

【特別講演】 『医療者として・当事者として家族を語る:アタッチメント(愛着)とジェンダー』

田村 毅 氏 (田村毅研究室 所長 思春期・家族精神科医)

【シンポジウムI】 『26th-27th-28th学術集会がつながるリレーシンポジウム(Part 2)』

【シンポジウムII】 『家族をひらく、家族がひらく』

近藤 日出夫 氏 (中日新聞社会事業団 中日青葉学園わかば館 元館長)

野辺 陽子 氏 (大妻女子大学人間関係学部人間関係学科社会学専攻 准教授)

星野 諭 氏 (特定非営利活動法人 コドモ・ワカモノまちing 代表理事)

【市民公開講座】 『家族の喪失と再生の物語-アルプスの少女ハイジ』

松永 美穂 氏 (早稲田大学文学学術院 教授)

* 市民公開講座のWEB開催の方法は現在検討中です

その他、委員会企画セミナー、一般演題発表、交流集会等を行います。

後援 公益社団法人 愛知県看護協会

一般演題および交流集会の募集

1. 募集期間：一般演題2020年3月10日(火) 正午～5月31日(日) 正午
交流集会2020年3月10日(火) 正午～5月31日(日) 正午
2. 応募方法：第27回学術集会のホームページ(<http://www.cs-oto.com/jarfn27/>)にアクセスし、「一般演題登録」「交流集会」のそれぞれの画面から表示に従って応募して下さい。応募された演題の著作権は日本家族看護学会に帰属し、ウェブサイト内でプログラムとして所属機関、氏名が公開されます。
3. 応募資格：演題発表者と共同研究者の全ての方が、演題登録時に本学会会員であることが必要です。非会員の方は、演題登録の申し込みをされる2020年5月31日(日)までに入会申し込み手続きが必要です。日本家族看護学会ホームページ (<https://jarfn.jp/index.html>) で方法を確認し、手続きを行ってください。
演題発表者と共同研究者の全ての方が、2020年5月31日(日)までに2020年度の日本家族看護学会費の支払いが済んでいることが必要です。演題発表者は、2020年6月15日(月)までに学術集会の事前参加登録および参加費の支払いをお済ませください。
4. 一般演題の発表形式は、音声付きPowerPointを用いての口演と、音声動画なしPowerPointを用いての示説となります。質疑応答はWEB上で行います。
5. 交流集会はZoomによるオンライン（セミナー形式、ミーティング形式）で開催いたします。
6. 一般演題の抄録作成要領：演題名は全角50文字以内、図表を掲載しない場合は、抄録本文全角1200字、総文字数（著者名・所属・演題名・抄録本文の合計）全角1800字以内。図表を掲載する場合は、抄録本文800字、総文字数全角1400字以内（半角2文字を全角1文字として換算しております。）図表ファイルはPDF形式です。複数の図表や写真を掲載する場合には1つのJPEGまたはGIFファイルにまとめてください。図表は約400字分の大きさで掲載されますので見やすさを考慮して作成してください。

学術集会参加登録のご案内

1. 事前参加登録期間：2020年4月1日(水)～2020年8月18日(火)
事前参加費支払い期間：2020年4月1日(水)～2020年8月25日(火)
2. 参加費 事前参加登録のみで当日参加はできません

	事前参加登録
会員	9,000円
非会員	10,000円
学生（大学院生除く）	2,000円

3. 事前参加登録方法：第27回学術集会のホームページから事前参加登録をお済ませください。
参加費の入金確認をもって事前参加登録完了となります。
講演集はPDFで、学会ホームページ上に掲載いたします。
4. 参加費のお支払い方法：銀行振り込みとなります。

※振り込みの際、氏名の前に必ずWeb受付番号を入力してください。

<振込先> 三菱UFJ銀行 八事支店

口座番号：普通預金 0263311

口座名義：日本家族看護学会第27回学術集会 会長 浅野みどり



看護の力で健康な社会を！

お問合せ先

学術集会事務局：

名古屋大学大学院医学系研究科
大幸キャンパス内
日本家族看護学会 第27回学術集会事務局
〒461-8673 名古屋市東区大幸南1-1-20

運営事務局：

株式会社オフィス・テイクワン
〒451-0075 名古屋市西区康生通2-26
TEL:052-508-8510 FAX:052-508-8540
メールアドレス: jarfn27@cs-oto.com

学術集会ホームページ：

<http://www.cs-oto.com/jarfn27/>